

2008年度 第86回 関西学生サッカーリーグ（後期・第6節）

10月25日（土） 鶴見緑地球技場

第1試合 関西大 vs 近畿大

大院大はCBの⑨岡村和哉を「機転が効くプレーが出来る」（藤原監督）理由でCFに起用したのが成功した。先制点は関西大に与えたものの、ゲームはむしろ大院大ペース。後半9分には右サイドDF⑤畑中俊逸からのクロスが岡村が決め同点に追いつき、その後も関西大を再三ピンチに追い込むすばらしいゲームを展開した。もう少しプレーに厚みと連続性があれば勝てたゲームだったろう。CF岡村を目標にして、そこから展開できたことが大きかった。DF⑫水野祐一朗 — MF⑩佐藤直裕の左サイド、DF畑中を軸にした右サイドからの攻めが単発だったのが、関西大DFに持ちこたえさせてしまった。

関西大はスタートから、攻守にスムーズさを欠いた。出だしから大院大が果敢な攻めで先手を取ったこともあるが、後手後手に回ってしまう展開になった。加えてパスミスなどが目立ち、攻撃にもつながりがなかった。前半31分にFW⑦阪本晃司、⑩佐藤悠希がからんで、MF⑧稲垣侑也が先制したが、チャンスらしいチャンスはその1点だけ。関西大は最後まで中盤の組み立てが十分機能せず、得点力のある阪本、佐藤のFW陣が生きず痛い引き分けとなった。

（文：関西学連）

関西大 1 $\left\{ \begin{matrix} 1-0 \\ 0-1 \end{matrix} \right\}$ 1 近畿大

得点（アシスト）者
31分 8 稲垣（18 佐藤）

得点（アシスト）者
54分 9 岡村（5 畑中）

第2試合 阪南大 vs 桃山大

阪南大 5 $\left\{ \begin{matrix} 2-0 \\ 3-0 \end{matrix} \right\}$ 0 桃山大

得点（アシスト）者
2分 43 棚橋（6 井手口）
22分 14 東（7 小寺・43 棚橋）
52分 26 長瀬（14 東）
54分 14 東（7 小寺・3 野田）
65分 4 吉川（14 東）

阪南大が5-0で桃山大に快勝。得失点差でびわこ大を制してトップに立った。阪南大はFW西田、木原、MF中濱、DF久野、中島ら多くの主力級を故障で欠きながら、さすがに選手層は厚い。しかもここへ来てチームの調子は上向き。それぞれが自己の持ち味をチーム力に結び付けて桃山大を粉砕した。今の阪南大はどこからでも攻撃の起点が出来、それを多彩な攻めに変えて得点が出来た強みを持っている。右サイドはMF⑭東浩史、左サイドは⑦小寺優輝が自在のパスをFW陣につないで桃山大DFを翻弄した。東は2得点、また、26 長瀬圭佑らMF陣の得点もフォローの忠実さを物語っている。

桃山大は前節、大院大を完封して「守りにメドが立った」（松本監督）ハズが、阪南大にはまるで通じなかった。阪南大の攻めが速くて強い上に厚さがあり、中盤のプレッシングが通用せず、DFラインが後手に回って屈辱の大量点を喫してしまった。次週の大教大戦には前期0-2で敗れている。桃山大には今後の命運を占うポイントゲームになる。

（文：関西学連）

10月25日（土） 西京極総合運動公園補助競技場

第1試合 関学大 vs 京産大

後期好スタートを切り、4勝1敗で迎えた両チーム。関学大は1年生にして既に不動のエース、FW 28 阿部浩之を中心にインカレ出場を狙う。一方の京産大も上位進出を虎視眈々と狙うが、ここにきて怪我や出場停止でベストメンバーが組めない試合が続いている。

試合はいきなり動く。前半3分、ゴール前の混戦からFW⑨重松直志が決めて京産大が先制。関学大にとってはMF⑩小関佑典主将が「最初の失点が全て」と語るように、非常に悔やまれる失点となった。しかし関学大もすぐさま反撃する。前半13分、MF 30 桑野裕士が得たFKを阿部が直接決め、同点に。その後は両者の積極的な守備が機能したこともあり、効果的な攻撃は見られない。カウンターから何度か決定機を作るものの結局どちらも決めきれず、1-1のドローで終了となった。古井裕之監督が「満身創痍の状態で、関学大から勝ち点1を取れたのは大きい。相手の攻撃をどう潰すかという点を重視したが、関学大のサイド攻撃を抑えたのでよかったと思う」と語る京産大に対し、関学大は小関佑典主将が「悔しいといしか言いようがない」と語るように、試合後の両者の表情は対照的なものとなった。

（文：京都産業大学体育会本部編集局 谷口達也）

関学大 1 $\left\{ \begin{matrix} 1-1 \\ 0-0 \end{matrix} \right\}$ 1 京産大

得点（アシスト）者
13分 28 阿部

得点（アシスト）者
3分 9 重松

第2試合 びわこ大 vs 立命大

びわこ大 2 $\left\{ \begin{matrix} 1-0 \\ 1-0 \end{matrix} \right\}$ 0 立命大

得点（アシスト）者
42分 25 篠部（13 平野）
79分 28 澤西

このカード、前期リーグはびわこ大が勝利し、逆に関西選手権では「リアクションのカウンターを警戒され守られた（びわこ大・松田監督）」結果、立命大が勝利した。松田監督は「力是不変。守り負けしないように」と試合に臨んだ。

立命大はドリブラー②長友拓、39 篠原翔を両ワイドに置く。立ち上がりはその篠原がタテに仕掛け立命大が攻め込むが、徐々にびわこ大がボゼッションで優りチャンスにつなげていく。立命大はFW 43 登弘幸にボールが収まると良い展開になるが、びわこ大の固い守備ブロックがはね返す。そして前半終了間際、びわこ大が⑬平野甲斐のパスから 25 篠部拓真が左足で見事なゴールを決め先制した。

後半、追う立命大のサイド攻撃も中盤でつぶされ単発で終わる。守備では⑩有田祐大がピンチにポストに激突しながらクリアするなど踏ん張る立命大だが反撃はビルドアップでのミスで逆にカウンターを浴びる。

そして後半34分、びわこ大はロングボールのこぼれを途中交代の 28 澤西宏典がボレーで決め2-0。終盤は押し込まれたびわこ大だが、守備の中心②船津徹也が「あわてずに守備できた。点を取られる気はそんなにしなかった」と振り返る快勝だった。

（文：サッカーライター 貞永 晃二）

10月25日(土) 山城総合運動公園太陽が丘球技場B

第1試合 姫獨大 vs 大教大

昇格組である両者にとって、1部残留は最低条件。ともに厳しい位置におり、ここでの勝ち点が重要になってくる。

先制点を奪ったのは大教大。やはり2トップの一角、FW⑩三好洋央が出場停止明けから戻ってきたことが一つのキープポイントとなった。そのことで前線にボールが収まり、入口豊監督も「三好を前線にあげたことで、森原も自由にできる。」と話すように、2トップが活躍した試合だった。前半7分に三好が放ったシュートがこぼれたところを、MF 22 佐藤和馬が決め1-0。後半も早い時間にFW⑨森原慎之祐が右サイドを突破し、そのままゴール。追いつきたい姫獨大だが、中盤からFW⑩沈修輔、FW 40 河野大星と相手も警戒する攻撃陣にロングボールを入れるも、枠に入れることができず得点を奪えない。後半の早い時間帯で引き離されたことが試合を決定付けた。

「点を入れられること自体がよくない。残念な試合になってしまった。」と守備面を指摘した昌子力監督。後期6試合で14失点と課題が浮き彫りになった。一方、3試合ぶりに勝利をあげた大教大は、「前期のリベンジができました。」と後期初の完封試合に肩をなでおろした様子だった。

(文:フリーライター 久住 真穂)

姫獨大 0 $\left\{ \begin{matrix} 0-1 \\ 0-1 \end{matrix} \right\}$ 2 大教大

得点(アシスト)者
7分 22 佐藤
54分 9 森原(30 大庭)

第2試合 同大 vs 近畿大

同大 4 $\left\{ \begin{matrix} 3-0 \\ 1-2 \end{matrix} \right\}$ 2 近畿大

得点(アシスト)者

19分 6 出崎

32分 6 出崎(9 松田)

44分 9 松田(18 荒堀)

72分 35 松田(6 出崎)

得点(アシスト)者

55分 11 平原(23 池)

57分 5 山口(7 枝本)

前節、大教大に勝ち、ようやく連敗を脱出した同大。残留争いに巻き込まれないためにも連勝といきたい。対する近畿大は関西大に完敗し、自動降格圏内に踏みとどまっている。

前半はここまで3得点と決定力不足に泣いていた同大が吹っ切れたように、得点劇を見せる。まずは19分。MF⑥出崎升浩がゴール右隅に狙ったFKを相手GKが取りこぼし直接入る形となり、幸先良いスタートを切る。32分にはまたしても出崎が軽々と決め、終了間際にはこの日中盤から随所に効いたパスを配給していたMF⑩荒堀謙次からの長いスルーパスに反応したFW⑨松田直樹が決め、仕事を果たした。

しかし、後半になると一転、近畿大が反撃を開始。後半10分、右サイドから進入したMF 23 池亮磨のパスを中央で待っていたFW⑪平石竜真があわせ、1点を返す。その2分後にはFKをDF⑤山口惇也が頭でびたりと合わせ1点差にまで追いつく。一気に流れは近畿大にいくが、そこは同大もゴールを許さない。「やはり3点目が大きかった」と近畿大・田中幸雄監督。最後はFW 35 松田純也がダメ押しの4点目をあげ、終わってみれば4-2と同大が逃げ切り2連勝をあげた。

(文:フリーライター 久住 真穂)

～第6節の風景～

2連勝同大。今後の巻き返しなるか! ◆楠神 順平 選手(同大・3年)*写真右◆



10月25日(土) 太陽B (同大-近畿大)

■ 撮影: UNN関西学生報道連盟 ■